

Trimble GFX-750 GNSS設定（周波数変更） xFill編（RTK、VRS、CFX-BOX共通）

RTX補正情報サービスの放送周波数帯及び通信速度の変更について

Trimble社では、Trimble RTX / xFill 利便性向上（測位スピードの向上）ために、現行のRTX補正情報サービスの放送周波数帯及び通信速度（ボーレート）を、2021年9月30日（木曜日）深夜をもって新周波数帯へ移行を計画しています。これに伴い、ご利用のGNSS受信機の設定変更（所要時間2～3分）が必要となります。

- この資料の対象：弊社RTX補正情報サービス（Trimble CenterPoint RTX, Trimble RangePoint RTXいずれかのサービス）の年間ご利用契約を締結されている方

- 変更内容：

変更後周波数: 1545.2725 MHz 1200 bps（2021年8月2日から運用開始）

現行周波数: 1539.8325 Mhz 600bps（2021年9月30日までで終了）

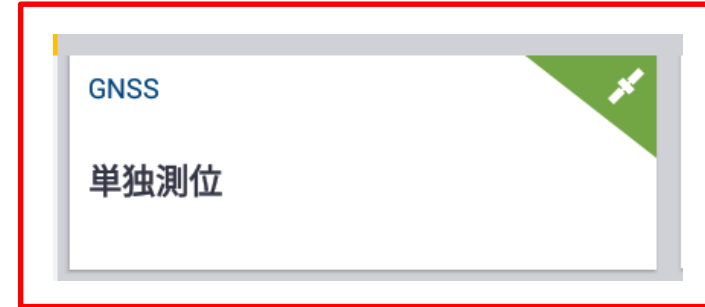
※新周波数移行後、測位スピードは約倍と、短時間となります。

★移行期間: 2021年8月2日(月曜日)～2021年9月30日（木曜日）の間中は、上記2つの周波数で並行運用致します。

- 変更後の動作: 2021年10月1日（金曜日）以降、現行周波数の運用は停止いたします。9月30日までに所定の設定へ変更されない場合は、RTX補正情報サービス、並びにxFillの機能が使用できなくなります。

Trimble GFX-750 GNSS設定（周波数変更）

- xFill編（RTK、VRS、CFX-BOX共通）



- ホーム画面の「GNSS設定」をタップする

Trimble GFX-750 GNSS設定（周波数変更）

- xFill編（RTK、VRS、CFX-BOX共通）



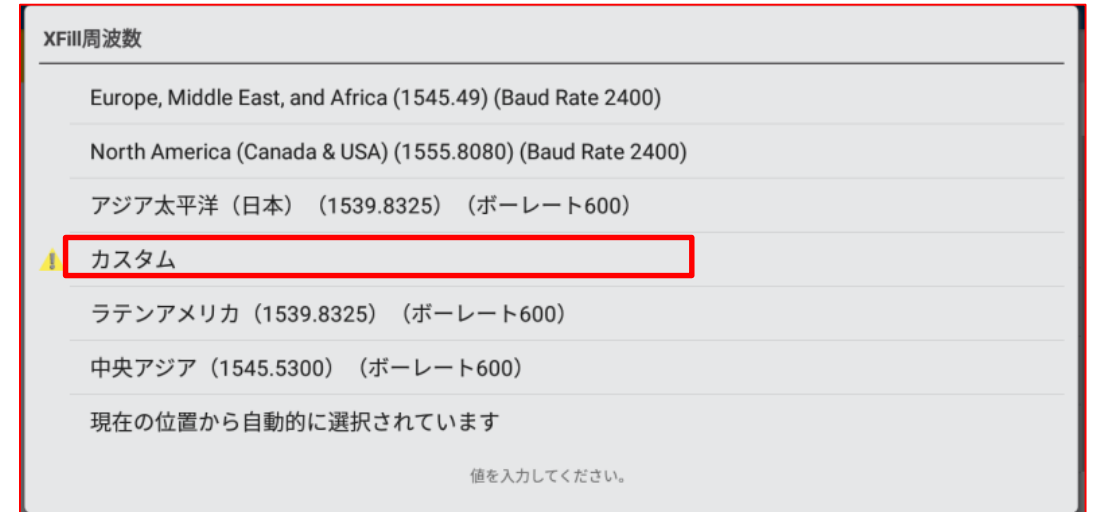
- 編集をタップし詳細設定を行う
- xFill機能はRTK、VRS、CFX-BOXで利用可能

Trimble GFX-750 GNSS設定（周波数変更）

- xFill編（RTK、VRS、CFX-BOX共通）
「セットアップ」



- 「XFILL 周波数」は「カスタム」を選択する。



- 「XFILL 周波数」で「カスタム」を選択すると、「周波数」と「ボーレート」の設定ができるようになる

Trimble GFX-750 GNSS設定（周波数変更）

- xFill編（RTK、VRS、CFX-BOX共通）
「セットアップ」

※2021年8月2日以降は

- ・ 「周波数」は**1545.2725** MHzと入力

周波数

1525.0000と1559.0000 MHzの間の値を入力してください

MHz

1545.2725

X

✓

- ・ 「ボーレート」は**1200**を選択

ボーレート

600

1200

2400

- ・ 入力が完了したら をタップ



Trimble GFX-750 GNSS設定（周波数変更）

- xFill編（RTK、VRS、CFX-BOX共通）

- ・ XFILLについて

- ・ 1～5分→1cm～5cmの水平誤差
- ・ 6～10分→5cm～9cmの水平誤差
- ・ 11～20分→10cm～15cmの水平誤差

※XFILLを利用している場合でも補正情報が途切れた場合は、
モバイル及び無線機を確認。
ガイダンスとモバイル及び無線機の接続が切れている可能性がある。